

わたしの議会。



8月18日 議会開放デーで市長や議長、議員体験

とば市議会だより 目次

平成30年度決算の概要…… 2
常任委員会報告…… 3～5
議員別表決結果…… 5～6

一般質問…… 7～11
TOBAミライトーク報告… 11
きらり輝く人達、他…… 12

平成30年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市印鑑条例の一部改正についてなど、議案25件と発議5件、請願4件を審議しました。

平成30年度 決算の概要

- 寄附金は、主にふるさと納税の減により前年対比3億2,404万8,000円減となりました。
- 地方交付税は、前年対比1億3,727万4,000円増の35億1,280万9,000円となりました。
- 財政調整基金残高は、1億6,000万円取崩6,000万円積立の5億7,756万8,000円となりました。
- 職員の退職者数増加により、平成16年度以来職員退職手当基金を1億円取崩しました。
- 都市計画事業基金、地方創生拠点整備交付金基金を初めて積立てました。

平成30年度の決算は、一般会計では実質収支が3億4,322万円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支においても1億3,094万6,000円の黒字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で1億376万3,000円、介護保険事業で8,915万3,000円、後期高齢者医療で526万1,000円の黒字となっており、5事業の合計で1億9,817万9,000円の黒字となりました。

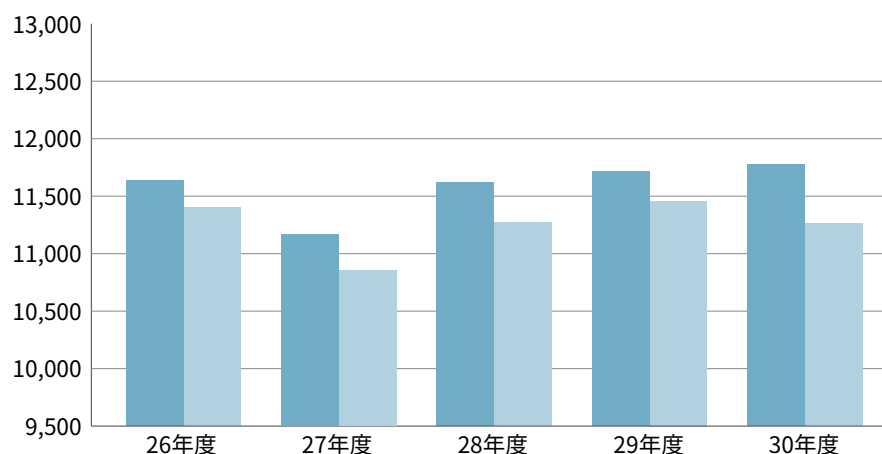
平成30年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

平成30年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	平成29年度 実質収支	平成30年度 単年度収支
会計		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		11,670,878	11,240,885	429,993	86,773	343,220	212,274	130,946
特別 会計	国民健康 保険事業	2,984,425	2,880,662	103,763	0	103,763	97,654	6,109
	介護保険 事業	2,810,073	2,720,920	89,153	0	89,153	60,322	28,831
	定期航路 事業	559,518	599,517	1	0	1	1	0
	特定環境 保全公共 下水道事業	155,378	155,377	1	0	1	1	0
	後期高齢者 医療	515,300	510,039	5,261	0	5,261	4,526	735
	小計	7,064,694	6,866,515	198,179	0	198,179	162,504	35,675
	合計 (一般+特別)	18,735,572	18,107,400	628,172	86,773	541,399	374,778	166,621

一般会計決算規模の推移



(単位：百万円)

	歳入	歳出
26年度	11,638	11,400
27年度	11,167	10,853
28年度	11,615	11,348
29年度	11,649	11,431
30年度	11,671	11,241

戸上健

中央共同調理場調理業務の債務負担行為の市長の所見は

市長

精一杯関係者の声を聞いていきたい

問 市民は報告を求めているわけではありません。中央共同調理場調理業務の債務負担行為に対して、議案上程に至るまでなぜ市民に意見を求めなかったのですか。

答 市長 今回のことについては、これまでにも場面場面で説明して理解を得られてきたものと思っておりますが、戸上議員が思うものと違つかもしれません。今この段階では、事後についてはきっちりした説明責任は果たしたいと思っておりますし、これから限られた期間の中で、精一杯、関係者の声は聞いていきたいと思っております。

常任委員会報告

● 各常任委員会に 22 議案と 4 請願が付託されました。

総務民生委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第29号 鳥羽市印鑑条例の一部改正について（住民基本台帳法施行令の一部改正等に伴い、印鑑登録原票の登録事項等について、所要の改正を行う。）

〈内容〉

- 印鑑登録において、旧氏の印鑑を可とする。
- 登録事項から「男女の別」を削除する。（）

問 旧姓による印鑑登録や登録事項からの男女の別を削除することについて、鳥羽市内で以前から要望はあったのか。

答 旧姓による印鑑登録、登録事項からの男女の別の削除にも要望はなかった。

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第44号 指定管理者の指定について（鳥羽市立海の博物館）（令和2年4月1日～令和5年3月31日までの間、次のとおり指定管理者を指定したく、鳥羽市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第5条第1項の規定により、議会の議決を求める。）

- 指定管理者：鳥羽市浦村町字大吉1731番地68
公益財団法人 東海水産科学協会理事長（石原真伊）

問 理事長がかわったが経営に対する考え方はどのように捉えているのか。

答 理事長は学芸員ではなく事務局長を務めている。数字も見ながら毎月入館者の動向を説明

いただいているのでしっかりと経営いただけたらと思っております。



平成 29 年 10 月より市立化された海の博物館

予算決算 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(認定第1号 平成30年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定)

企画財政課

移住・定住施策の取り組み開始以降、地域おこし協力隊を含め、鳥羽市への移住者が地域で活躍する様子や、移住者の受け入れにより地域コミュニティが活性化する様子が知られるようになり、移住者の受け入れに対する機運も地域で徐々に高まっている。職員の努力により成果として表れてきていることに対し、議会として高く評価いたしたい。

農工商工課

農業振興鳥獣害対策事業については、これまでも市長に対して2カ年継続して提言をし、予算を拡充して取り組んでいるところであるが、今後においても鋭意努力をお願いするものである。海女文化継承啓発事業について、海女漁業の更なる振興を図り、後継者不足の解消につなげる「海女さん応援事業」では、35人の新人海女が誕生している。海女漁を始めつつかげづくりとなり、本事業の目的としての成果を収めていることは、議会としても高く評価をいたしたい。

学校教育課

寝屋子の島留学事業については、答志中学校区をモデル地区とし離島留学の実施に向け、留学生を受け入れるための様々な活動を実施し、努力をしている。その結果、平成30年度から家族留学1組を、令和元年度からは島親留学2名を受け入れた。この成果についても、議会として高く評価するものである。また、児童を受け入れていただいた答志町の地元関係者には負担が多い中で、事業がうまく軌道にのっていることは地元関係者の努力の賜物であり、議会としても深く感謝する。

その他

観光課が芸術を鳥羽市への来訪目的とするため「鳥羽IIアート」のイメージ付けや、アーティストの作品制作・滞在支援等の実施など、様々な事業を展開しているが、観光課に限らず他課と横断的に連携し、市民がアートを楽しみ、愛着が持てるように芸術を活かした鳥羽の発展を目指していただきたい。

提言書

昨年度に引き続き今年度も提言書を市長に提出しました。提言項目は次のとおりです。

1. 鳥羽への移住・定住応援事業について、定住応援事業奨励金の次年度以降への継続とともに、年齢制限など利用条件の緩和及び奨励金のあり方を検討し、更なる利用及び定住の促進に結び付けられたい。

2. 地域共生社会の実現を目指し、集落支援員制度の全庁的かつ積極的な活用に努められたい。

3. 市内においては、今後更なる空き家の増加が見込まれることから、空き家改修補助制度の見直しも含めた空き家活用の方策を探索するとともに、市営住宅の空室対策として、入居希望者募集時の要件緩和など制度の見直しを検討し、人口減対策に結びつけられたい。

提言書はホームページでも公開しています。



10月2日提言書を市長に提出しました。

(議案第27号 令和元年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号))

問 来年度4月からの民間委託開始に間に合うのか。

答 11月に業者と契約することで間に合う。

問 今まで栄養教諭が味見をして鳥羽の給食の味を保ってきたが、民間委託後も同じ味が保てるのか。

答 献立や調理過程は今までと同じ栄養教諭がつくる。委託業者の調理管理責任者と連携し、同じ味が出せるように努めていく。

討論

議案第27号 令和元年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)

- 戸上 健議員 ≪ 反対 ≫
- 南川則之議員 ≪ 反対 ≫
- 瀬崎伸一議員 ≪ 賛成 ≫
- 坂倉広子議員 ≪ 賛成 ≫
- 山本哲也議員 ≪ 賛成 ≫

人事

教育長の任命に同意

小竹 篤氏(再任)

教育委員会委員の任命に同意

奥村 楠治氏

公平委員会委員の選任に同意

大久保 有規氏

令和元年9月4日～10月2日会議

議員別表決結果

○：賛成 ×：反対
-：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村 敦	河村 孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上 健	浜口一利	坂倉広子	坂倉紀男	世古安秀
26	令和元年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
27	令和元年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)	10月2日	可決	×	○	○	○	○	○	○	×		×	○	○	○	○
28	令和元年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
29	鳥羽市印鑑条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
30	職員の分限に関する手続及び効果等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
31	鳥羽市職員給与条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
32	鳥羽市職員等の旅費に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
33	鳥羽市職員の退職手当に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○

議長につき表決なし

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村敦	河村孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上健	浜口一利	坂倉広子	坂倉紀男	世古安秀
34	鳥羽市市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
35	鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
36	鳥羽市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
37	鳥羽市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
38	鳥羽市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
39	鳥羽市幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
40	鳥羽市立かもめ幼稚園預かり保育条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○
41	鳥羽市消防団条例の一部改正について	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	鳥羽市給水条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	工事請負契約の締結について（鳥羽市消防庁舎建設工事）	9月4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	指定管理者の指定について（鳥羽市立海の博物館）	10月2日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	平成30年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	教育長の任命について	9月13日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	教育委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定1	平成30年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	10月2日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定2	平成30年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願3	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願4	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願5	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願6	防災対策の充実を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議3	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議4	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議5	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議6	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議7	防災対策の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
報告2	平成30年度鳥羽市健全化判断比率の報告について	報告につき採決なし															
報告3	平成30年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告4	平成30年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																
報告5	平成30年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																
報告6	一般財団法人鳥羽市開発公社及び公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告について																
報告7	専決処分した事件の報告について（令和元年度鳥羽市一般会計補正予算（第5号））																

議長につき表決なし

これが聞きたい・ここが聞きたい

一般質問



9月10日～9月11日に8人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
9月10日(火)	濱口正久	鳥羽市における児童虐待の現状と取り組みについて 水産物のブランド化と取り組みについて 買い物弱者対策について
	坂倉紀男	本市における地方創生と総合戦略について 少子高齢化と年金生活者施策、医療費、介護費の増大について 救急救命と蘇生中止容認に向けた動向について
	浜口一利	鳥羽市の医療環境について 離島の救急救命体制について
	瀬崎伸一	長岡地区の防災・避難の中核施設としての鳥羽市消防署南鳥羽出張所活用整備について

日程	議員氏名	項目
9月11日(水)	南川則之	職員定数管理計画及び行政改革推進プランについて 市内で働く場の確保と入札制度の改善について
	山本哲也	鳥羽市の子育て支援策について
	坂倉広子	防災・減災対策について 選挙における投票率向上への取り組みについて 小中学校における安全対策について いじめ相談窓口の設置について
	戸上健	保育所の給食調理民間委託問題について 会計年度任用職員制度問題について

児童虐待相談件数は

健康福祉課副参事
相談対応150件、
虐待相談対象者は23人

問 本市の児童虐待相談件数、相談対象者の種別、年齢層を聞きます。

答 健康福祉課副参事 平成30年度の相談対応延べ件数は150件で、虐待相談対象者は23人、関係機関との個別のケース検討会議の開催回数は6回でした。今年度は、報道等の影響もあり通報件数もふえ、7月末には対応実件数も前年度の実績値に到達する勢いです。内容的には重篤なケースがふえ、児童相談所や警察との個別ケース検討会議は既に前年度の回数を上回っている状況です。種別は、虐待相談対象者23人中、身体的虐待13人、ネグレクト※2人、心理的虐待4人、その他4人となっています。年齢層は、乳幼児8人、小中学生12人、高校生3人です。

問 虐待が疑われるような泣き声を聞いた場合、どこへ連絡すればよいのですか。

答 健康福祉課副参事 子育て支援室内の総合子ども相談ほつぷで受け付けています。緊急時の専用ダイヤル189は、昼間は南勢児童相談所へ、夜間は中勢児童相談所へつながるようになっていきます。

問 通告の情報は守られますか。

答 健康福祉課副参事 通告元は明かせない旨を保護者に伝えることを徹底し、秘密は守られます。

※ネグレクト…児童に対する虐待としては育児を放棄すること。



児童相談所全国共通ダイヤル189



濱口正久

地方創生拠点整備交付金 事業への考えは



坂倉紀男

市長

真珠のようにきらり 輝く鳥羽につなげて

問 この度の採択を受けた地方創生拠点整備交付金は、事業の出発点であり、生き残り作戦の始まりであると認識すべきですが、市長の考えを聞きます。

答 市長 本市では、鳥羽海藻文化革命やとばびと活躍プロジェクト、中央公園のリノベーションや海女文化の継承活用など、内閣府からたくさん地域再生計画の認定を受け、本市の強みを活かした様々な地方創生事業を展開してきました。全国に誇れる事業となった漁業と観光の連携事業ですが、これらの事業はまさに、鳥羽市の生き残りをかけた作戦であると認識をしています。これらの計画がそれぞれ織りなす糸のように編み上げれば、鳥羽市の持続可能な将来のための重要な取り組みになると実感しています。市民の皆様一人一人が社会参画し、活躍できる場を鳥羽でもぜひ創出していききたいと考えています。今

後も人口減少が続く将来において、海との共生による経済成長と産業発展、地域共生社会の実現による市民の幸福実感向上を目指し、本市の地方創生の取り組みを多くの分野の皆様と一緒に進め、「小さくても真珠のようにきらり輝く鳥羽」の発展につなげていきたいと思っています。



地方創生拠点整備交付金事業で整備を行う鳥羽市民体育館等

医療環境の悪化への対応は



浜口一利

市長

診療所の枠を超えた 取り組みも必要に なってくるのではないか

問 医師不足が人口減に拍車をかけるなど悪循環に陥ると聞かすが、本市の現状を聞きます。

答 健康福祉課長 開業医の高齢化と人口減少に伴う患者数の減少により、開業医の診療所も減少することが予想されます。また人口減少は、診療科目にも影響を及ぼし、10年間で市内診療所の患者数も約27%減少しました。

問 拠点施設の医療スタッフによる離島医療、夜間医療に対応できる体制への移行が住み続けるまちづくりには大切ですが、医療環境について市長の考えを聞きます。

答 市長 医療は人口構造が変化しても欠かすことが出来ません。従来のも市立診療所の枠を超えた取り組みも必要になってくるのではないかと考えています。

市長

離島分署の設置の考えは

問 他県の状況等を検討・分析します。離島は救急業務の空白地域です。離島の防火、防災を担う団員確保も困難な状況です。救命士が常駐し団員との協働で地域の安心安全を守る体制として、離島分署の設置の考えはありますか。

答 市長 以前から危惧しているのですが、救命士の配置はハードルが高いと認識しています。救命率の向上には、地域住民と行政の役割を互いが認識し、今後も他県の状況等を検討・分析し、地域住民の安心安全の向上に向けて取り組んでいきたい。



朝熊山上空から撮影した鳥羽市

消防署南鳥羽出張所の避難所 位置づけと上水道整備を



瀬崎伸一

市長

上水道整備が前提での 避難所位置づけは不可能

問 消防署南鳥羽出張所を避難所に位置づけ、松尾方面から相差方面へ上水道整備を確保するにはどのような方策が考えられますか。

答 水道課長 松尾方面から相差地区へ新たに管を布設することが必要です。大坂峠よりも標高の高い土地に配水池を建設し、配水池へ水を上げるための高能力な加圧ポンプ場の建設も必要です。標高が低くなる相差町内では途中に減圧装置の設置も必要です。新たな水道施設の設置や水道管の埋設等多額の費用を要し、水道事業経営に与える影響も大きいと考えています。

問 送水管布設、最大海拔となる位置へのタンクの新設、ポンプ施設の新設が完成すれば、鳥羽において防災の先進地区となり、発展の起爆剤になり得ます。消防署南鳥羽出張所を防災・避難の中核施設として、着手すべきではありませんか。



鳥羽消防署南鳥羽出張所

答

市長 水道事業は、主に水道料金をもって経営に当たる独立採算制により事業が成り立っています。上水道が前提で、防災・避難中核施設という位置づけを行うのであれば、不可能だと思っています。大規模災害の時の水事情は、現在計画をしているループ化が最も費用がかからず、安心感を求められる計画ではないかと思っています。

働く場の確保について 県への働きかけは



南川則之

市長

法的にも問題のない範囲 で要望をしています

問 市内で働く場の確保は急務です。中小企業経営が厳しさを増す中、振興、育成の経営環境基盤整備への施策展開を鳥羽商工会議所から市に要望してきています。さらに、三重県へ鳥羽市からの働きかけを期待する強い要望も上がっています。三重県へ働きかけを要望するもの一つは、河内ダム関連事業の受注促進を要望です。どのように要望していますか。

答 建設課長 鳥羽河内ダム事業は市道となる工事用道路の市の負担分は、約2億5000万円を見込んでいます。市の負担金に変更を生じないよう要望をしています。

答 市長 地域内で経済が回るようになるべく市内業者を受注が行くことが良いと思っています。法的にも問題のない範囲で県にも要望をしています。

問

安全な船舶航行のための加茂川河口堆積土砂浚渫と中之郷エリアの商業機能港整備についてどのような要望をしていますか。

答

副市長 志摩建設事務所や県庁の港湾・海岸課へも要望しています。

答 市長 この浚渫については、調査は行うという話をいただいています。鳥羽商工会議所との協議による中之郷エリアの商業関係についても、これからも話し合いは常に持っていきたいと思っています。



河内農地防災ダム

妊婦の歯科検診費用助成は

健康福祉課長

実施に向けて 検討したい

問 子ども・子育て支援事業計画の評価、検証を行ってきた結果出た課題や問題点を聞きます。

答 健康福祉課副参事 防災、交通安全等の「子どもを守る環境づくり」、「児童虐待防止への取り組み」、「周産期・小児医療の充実」等の住民のニーズが高く、優先的な対応が必要で、「子育て家庭への不安・負担軽減の支援」、「教育・保育の充実」等は、継続して取り組んでいくことが求められる施策と言えます。

問 妊婦歯科検診費用助成に関して現状を聞きます。

答 健康福祉課長 県内では約半数の市町が妊婦の歯科健診に係る費用助成を実施しています。本市では、現在のところ費用の助成等は行っていないです。

問 実施予定はありますか。
答 健康福祉課長 妊娠中に歯科検診を



山本哲也

受けることで、口腔衛生に関心を持つことができ、出産後の子どものむし歯予防にもつながることと考えられるので、他市町の事例を踏まえて実施に向けて検討したいと思えます。

問 子育て応援条例や子育て応援宣言を行う考えはありますか。

答 市長 今後も市民と一丸となって子育てを応援していきたいことから、一層の気運の醸成を図っていかねければなりません。宣言や条例は、非常に有効な方法だと考えます。



子育て支援センターの取り組み

児童・生徒の安全・防犯 対策は

市長

地域が守り、関係機関 と連携し進めたい

問 登下校時の児童・生徒の安全確保と防犯対策はどのように行っていますか。

答 学校教育課長 防犯対策は、青少年育成会をはじめ、スクールサポーターなどの地域の協力と青少年サポートセンターなど関係機関が連携し、多様な主体による見守りが必要であると考えています。

問 通学路の危険個所の把握はどのように行っていますか。

答 各校において、通学路点検活動やタウンウォッチング等を実施する中で、児童・生徒、教職員、保護者の視点で把握しています。

問 不審者情報は、どのように関係機関と情報連携していますか。

答 学校教育課長 不審者情報がありましたら、学校、教育委員会、鳥羽警察署、総務課防災危機管理室が連携し、とばっ子メールやとば

メールなどで情報提供しています。

問 安全対策、防犯対策の今後の取り組みについて市長の所見を聞きます。

答 市長 自助・共助、備えの大切さといったものは、地域共生社会と合致すると思えますし、防犯、交通安全、防災、全てのテーマに共通するキーワードだと思います。児童・生徒の安全・安心はまず地域が守るという考えのもと、関係機関と連携して取り組みを進めていきたいと考えています。



坂倉広子



通学中の子どもたち

保育所民間委託の要望は



戸上 健

市長

聞いていません

問 保育所の給食調理を民間委託するという報告が出ているが、市民の要望は出ていますか。

答 市長特に市民世論となつては聞いていません。

問 保育所給食調理業務の民間委託は改めて今の時点で吟味し直さなくてはならないと思いますが市長の見解を聞きます。

答 市長 まだ検証は済んでいませんので、検証していきたいと思っております。その結果を見て判断することになると思います。市民の声は広く聞いていきたいと思っております。

職員である嘱託職員、臨時職員が大きく変わります。市の行政運営にとって非正規職員の存在なく円滑な市政運営業務はできないのではないですか。

答 副市長 ご指摘のとおり、円滑に業務を運営し、安定した行政サービスを提供していくためには、嘱託職員並びに臨時的任用職員の存在は大きく、なくてはならないものです。

問 今の待遇が後退してはならないと参議院総務委員会の附帯決議ではどのようにうたっていますか。

答 総務課長 会計年度任用職員への移行にあたっては不利益を生じることなく適正な勤務条件の確保が行われなければならないと指摘しています。

臨時・嘱託職員の役割は

副市長

存在は大きく、なくてはならないものです

問 2020年から会計年度任用職員制度が導入され、鳥羽市の非正規



好評のきょうしゅくしんぶん

開催中！

TOBAミライトーク

7月16日に2回目となる鳥羽旅館組合女将あこや会とのTOBAミライトークを開催しました。

テーマ 産業振興、雇用

参加人数 6人

広報広聴委員会で協議し、議会運営委員会に報告しました。当日出された意見は議員活動の参考といたします。



TOBAミライトークの詳しい内容や申込用紙は市議会ホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.toba.mie.jp/gikai-shomu/tobamiraitalk.html>

TOBAミライトーク

検索

年賀状の自肅申し合わせについて

市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自肅することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

プロフィール

さんさく
三作株式会社代表取締役
さとなか かつゆき
里中 克行 さん

1973年生まれ。サラリーマンとして近畿日本鉄道・ワタミにて経験を積みワタミの独立制度にて起業。

2012年に和民とのフランチャイズ契約を終了し、新たに今までの経験を活かした飲食店プロデュース、直営店の経営、故郷である三重の食材販売を主とする経営に取り組む。

三作株式会社公式サイト：<http://sansaku.co/>

「たくさんの飲食店を経営されていますが、小さいころから飲食業を目指していたのですか。」

実家が石鏡で両親が釣り船、民宿をやっていたことから商売が幼少期の頃より身近にありました。私が高校生の頃、父親が亡くなり、環境が一変したことにより一度は商売をあきらめて会社員となりましたが夢をあきらめず近鉄を退職して起業を目指して飲食店で働くことになりました。

「県外在住の里中さんから見た鳥羽の魅力はどこだと思いますか。」

まずは、海をはじめとした自然ですね。豊富な海産物はどこにも引けを取らない財産だと思いますし海女を含めて歴史と文化は世界にも誇れるものです。実際に故郷を離れて魚介類を購入する機会があったときに値段にびっくりして、改めて恵まれていたことに気づきました。

「最後に、鳥羽市民へメッセージをお願いします。」

私自身も月に一度は鳥羽へ帰るようになっていますし、地元の祭りにも積極的に参加させていただいております。自慢の故郷を盛り上げ守ることを出来るように微力ながら外部から鳥羽魂を持つ一人として発信させて頂きます。

編集後記

9月会議では、平成30年度の決算認定に関わる協議を4日間（9時から17時）しっかりと議論させていただきました。協議終了後には、毎日、議員間で事業のふりかえりを行い、事業改善すべき点や少ない予算にメリハリをつけて市民の生活向上に繋がるように、議会の総意として、提言書にまとめ執行部へ提出させていただきました。詳しい内容はYouTube等でもアップしておりますので視聴していただければ幸いです。

広報広聴委員会	委員長	山本哲也
	副委員長	濱口正久
	委員	南川則之
	委員	奥村 敦
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	浜口一利

記 濱口正久